

外国籍の子どもたちと関わって

～ これまでの経緯と現状・課題 ～

にほんご未来塾

柳川五郎

放課後子ども教室・えひめ未来塾指導者研修会

2021. 6

発表の流れ

1 A国姉弟との出会い

2 B C D国の中学3年生との出会い

高校への受験指導

進路保障の重要性に気づく

3 「にほんご未来塾」の活動へ

きっかけ

A国姉弟との出会いから始まる

平成28年11月～

日本で生まれ、小学校低学年まで日本の学校に通う

家庭の事情でA国に移る

家庭・・・家族と**現地語**。 姉弟は時々**日本語**で会話
学校・・・小学校～高校1年生まで**英語**

将来日本の大学で学びたいため高校を中途退学し、日本に帰国

11月、**定時制高校に入りたい**と学習指導を依頼される

学習指導

丹原公民館で週3日（水・木・土） 午前9時～12時

実態

日本語で会話はできるが、文字が書けない

初めの
2ヶ月間

- ひらがな・カタカナの筆記
- 漢字の読みと意味（小1～中3）

その後

- 3教科 + 作文

突然、希望を「定時制」から「全日制普通科」に切り替える
“ 大勢の仲間と一緒に勉強したい ”

受験勉強をさらに1年延長

“海外帰国子女枠” で受験

高校受験まで計 16ヶ月間

水・木・土曜日の受験指導

国語

数学

英語

社会

理科

作文

5教科の教科書（中1～3）
教科用語等を英語翻訳して説明

+

入試過去問（3年間分）

3段落構成で書く練習（300～400字）

翌春、全日制普通科に入学

努力を
重ね

今年4月、一般入試で
難関大学に入学

海外帰国子女取扱措置（高校入学）

海外帰国子女とは・・・

保護者ととともに県内に住んでいる者、または入学の日までに県内に住む予定の者で、**帰国後の期間3年以内**であり、さらに外国に住んでいた期間が1年以上である者をいう。



受験生は、「海外帰国子女取扱措置願」を志願先の校長に提出

その後、次の出会い

高校定時制を希望する**中学校3年生**への学習支援が始まる

2019年11月 ~ 翌年2月末（水曜日・土曜日）

Kさん（女子 B国）

幼い頃、来日 小学校に入学以来

日本滞在 **9** 年間

Yさん（女子 C国）

小学校高学年で来日 小学校に編入以来

日本滞在 **4** 年間

Rさん（男子 D国）

1年前に来日 中学校3年生に編入以来

日本滞在 **1** 年間

生徒の学習の様子

- 将来の夢のために、ステップアップしたい
- とても熱心で、集中力が続く。欠席なし。
 - 水曜日（午後 15:00 ~ 19:00）
 - 土曜日（終日 9:00 ~ 17:00） 弁当持参
- 質問が多い。生徒同士も教え合う
- 克明にノートをとって、復習をする

生徒の状況から感じたこと

日本の学校に通ったのに、なぜ学力がついてないのか？

能力と意欲がある生徒なのに、どうして全日制高校に入れなかったのか？

なぜ学力が身についていないのか

中学生（日本滞在年数が長いのに・・・）

- 基本である**国語科の文章**が十分に読解できない
- **教科用語**が理解できていない
- 日本語で**深い思考**ができない
作文を書かせたとき、深い思考が難しい

小学生（日本滞在年数が短い）

- **教科書の語い**の意味が正確に理解できていない
- **細部の意味**や**細かいニュアンス**がわからない、**段落の要点**がつかめない

指導者側

- 会話力と学習理解力の区別があいまい？
- 授業の予習と復習にもっと工夫が必要？

日本人の児童と同じレベルを求めることは可能か？

齊藤兆史（英語学者）の著作から

私たちは日頃、日本語でものを考えながら生活をしている。

- ▶ 日本語を用いているときに最も深くて繊細な思考活動を行っている
- ▶ 母語と同程度に英語を操ることはそう簡単にできるものではない

母語を基盤として、繊細な感性、論理的思考力等が培われる

母語の成長も見はからいながら、学習指導をしていくべきではないか？

A国の姉弟は・・・

難しいことを英語で考える習慣が身についていた

→ 受験勉強の間、姉弟は理解の確認を互いに英語で行っていた

英語による認知力、思考力が潜在的な力になったのでは？

中学生・小学生は・・・

Kさん（B国） 日本の小学校に入学し、その後**9年間**過ごす

Yさん（C国） 日本の小学校6年生で編入。その後**4年間**過ごす

母語による認知力、思考力が不十分のまま、日本語学習でつまずき？

「にほんご未来塾」 (毎週水曜日)

西条公民館

子どもたち 10人 (西条小学校内「にほんご指導教室」在籍)

1～2年生 15:00 ~ 17:00 (1時間)

3～6年生 15:00 ~ 17:00 (2時間)

出身国 南米・アジア

指導者 教員退職者6名

にほんご未来塾のようす



現在のほんご未来塾のようす



位置づけ

市教育委員会

学校教育課

社会教育課

地域学校協働活動

地域未来塾

西条小学校

西条公民館

通常学級
(交流学級)

にほんご
指導教室

コーディネーター

にほんご未来塾

特別支援学級

いかに多くの文字・言葉に触れさせるか

会話の中で**助詞**を正しく使っているか、周囲が気をつけて指導

○文字・言葉

フラッシュカードなど（指導者作成、子どもが作成で意欲化へ）絵カード遊び

○国語授業・・・予習・復習を重視する

予習

音読。語句のふりがな、言葉の意味理解、中心部の理解

復習

音読。内容理解の確認を質問形式で行う

常時

感じる言葉（形容詞など）、思う・考える時に使う言葉をていねいに

指導の重点

音読の重視

○ 文字を反射的に捉え、読める力

○ 語句、文の意味を捉える力

その児童の学力の現状が把握できる

音読の中で質問し、理解を確かめ、補える

計算力の重視

○ 九九、四則計算が正確にできる力

学習に対する子どもの構え（考え方）が異なるのを補う

読み聞かせの重視

○ 日本語に親しむ

○ 外国籍児童だけのせい、子どもがリラックスできる場になっている。
子ども同士の交歓の場の役割も果たしている。

△ 児童は教師に甘えたり、おしゃべりをしたり、学習をすぐに始められない、
集中力が続かない。

マンツーマン指導 (1対1, 2)
教師を固定



○ 子どもを継続観察するので、効果的な指導できるようになった

○ 学習に対する子どもの構え（家庭の事情など）が異なるのを補える。

○ 子どもが落ち着いて学習でき、集中できるようになった。

○ 学習能率が良くなり、余った時間に読み聞かせや言葉遊びができる。

進路保障のための学校との連携

定期的な連絡会（隔月）

小学校との連携が進む



指導目標の共有化と評価

- 管理職・教務・研修
- 交流学級担任
- 「にほんご指導教室」担任・支援員
- 「にほんご未来塾」指導者

- 一人一人について情報の共有化
- ★ 家庭の生活環境、校内生活のようす
 - ★ 学習の状況
- にほんご指導教室 ・ 交流学級
- にほんご未来塾
- ★ 学習課題、効果的な指導方法

現在の課題

- 指導時間が短く、宿題を済ませるだけで時間が過ぎてしまう。
- 1週間に1度の指導に限界を感じる
- 学校と子どもの学習目標の共有化を目指しているが、まだお互いに手探りの段階である。
- 学校の決断で、今年度水曜日は全校一斉「自主学習の日」と定めた
- 宿題消化型からの脱却 → 発達段階に応じた日本語を養う場へ

個々の子どもに合わせた日本語教材の活用と工夫へ！！

さらに学校と連携していききたいこと

子どもの自尊心・自信を高める



母国文化の紹介

★ 母国の文化や情報を本人に発信させて、学級内で共有化を図る

日本文化だけの学校生活に風穴を空ける

★ 自尊心、プライド、母国への誇り、人としての対等意識を学級で共有する

★ 保護者へも好影響、励み、好循環につながる

母語・年齢・入国年齢・滞在年数（四大要因）を考慮

3つの側面
で評価

① 会話の流暢度は？

日常会話は普通1～2年で獲得

② 弁別的言語能力は？

- ・音韻認識（音と文字の関係、文字を読み取る力）
- ・文字認識、短文を形成する力
- ・語い、文法構造

③ 教科学習言語能力は？

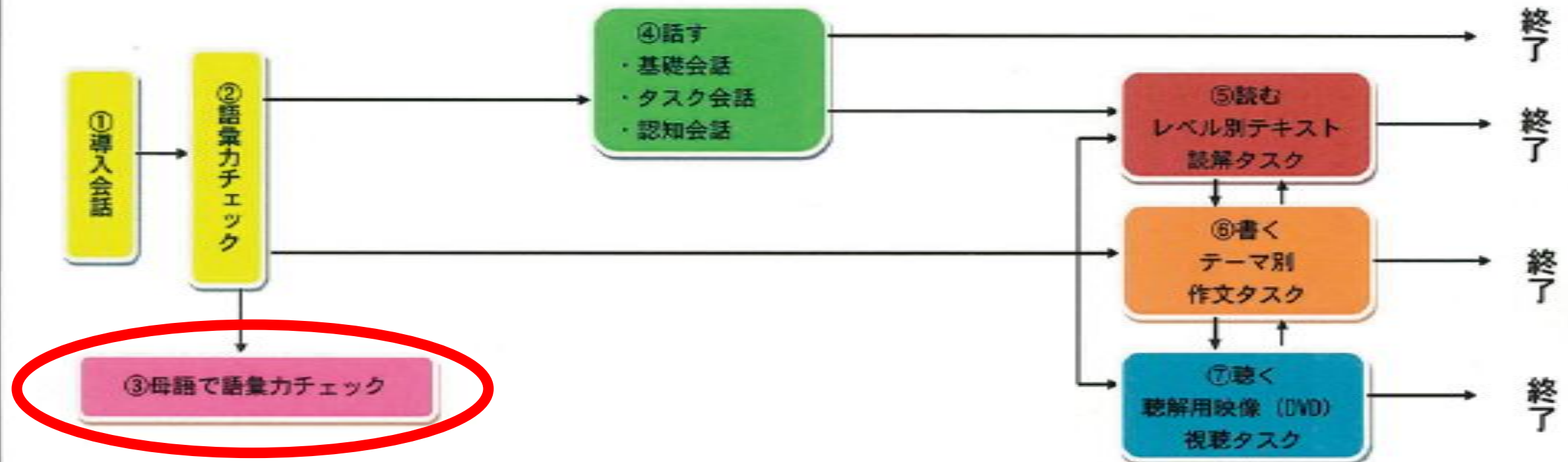
学年相当レベルには5年以上を要する

日本人児童生徒と異なる方法で指導する必要がある

子どもの潜在的な能力（母語で培ったもの）を活用しながら伸ばしていく

観察による「JSL 評価参照枠」のステージ予測

ステージ予測に迷う場合に評価を実施：個々に応じて評価ツールを選択



評価・診断結果による「JSL 評価参照枠」のステージ確定

支援のあり方へのヒント

おわりに

- 1 外国籍児童生徒のハンディを乗り越え、確実な**進路保障**に努める
「海外帰国子女枠」は使えない！！
- 2 **四大要因**と個々の児童生徒の**特性**を見すえて、計画的な指導を行う
 - ・ 母語の発達段階
 - ・ 現在の年齢
 - ・ 入国した時の年齢
 - ・ 日本の滞在年数
- 3 **D L A**など**科学的な測定や方法**を用いて、客観的に評価する
- 4 お互いの**母国の文化**、**母語を尊重し合う文化**を築く
- 5 学校間、学校と支援者（未来塾等々）で学習理解と成長を支えるための**実質的な連携のあり方**を研究し、継続していく

ご静聴ありがとうございました